

2021年度 第3回 日本放射線技師連盟理事会 議事録

日時：令和3年10月2日(土)18:00～19:00

場所：WEB会議

出席者 理事長：芳士戸治義

副理事長：白木尚、丹羽政美、中上康次

理事：上田克彦、木暮陽介、江藤芳浩、富田博信、児玉直樹、中村勝
富田伸生、小黒清、山本英雄、高嶋敏光、江田哲男、松田恵雄
江端清和、吉川典子、藤井雅代、茂木大志、船水憲一、田中功
中村泰彦、篠原健一

監事：松原馨、奥村雅彦

参与：畦元将吾

陪席者：加藤京一、連盟支部長

欠席者 理事：麻生智彦、大野肇、西川祝子、廣木昭則

書記 谷本恵子

【議事】

1. 活動報告・周知事項（報告期間：前回理事会～本日）

1) 活動報告（木暮理事）

- －2021年7月20日（火）小野寺五典衆議院議員との面談（選挙対策打合せ）
- －2021年8月2日（月）三重県連盟支部説明会（WEB開催）に参加
- －2021年8月5日（木）自民党主要団体実務者研修会に参加
- －2021年8月5日（木）埼玉県連盟支部説明会（WEB開催）に参加
- －2021年8月7日（土）東京都連盟支部説明会（WEB開催）に参加
- －2021年8月12日（木）静岡県連盟支部説明会（WEB開催）に参加
- －2021年8月18日（水）おこのぎ八郎選挙事務所訪問（横浜市長選挙応援）
- －2021年8月26日（木）医療技術者団体協議会（17団体）に参加
- －2021年8月31日（火）岐阜県連盟支部説明会（WEB開催）に参加
- －2021年9月11日（土）岸田文雄先生が地方の「声」を聴く
～リモートヒアリング企画 放射線技師の「声」を聴く
リモートヒアリング（WEB開催）
- －（公社）東京都診療放射線技師会会誌に日本診療放射線技師連盟ニュース掲載依頼
2021 No.7（通巻64）、No.8（通巻65）、No.9（通巻66）

一陳情書について9月30日時点で20,233名の署名を頂いている。

各都道府県別グラフ別紙参照。最終的に集めたものを畦元先生の方へ提出する。

2) 情報システム報告 (木暮理事)

- 自民党入党のご案内 3,372 名 (2021 年 8 月 15 日付)
このうち診療放射線技師は千数百名程度である。2021 年度分の党費をまだ支払っていない方は支払いをお願いしたい。
- 日本診療放射線技師連盟ニュースを毎月掲載している。
- 令和 3 年度第 2 回議事録を掲載
- 会員・決済管理システム (シクミネット) 導入作業中である。
準備出来次第 HP にリンクを貼りシステムを開始する予定である。

3) 会計報告 (木暮理事)

- 連盟会員数は 1038 名 (10 月 1 日時点)
2021 年度の年会費納入状況は 105 件、寄付は 42 件
- 連盟残金 : 813, 485 円 (10 月 1 日時点)

上田理事 : 今年度の自民党年会費の請求書確認できていないが送付されているか。

畦元事務所 : 今後継続の方に関しては請求書が届く予定である。

4) 国政報告 (畦元参与)

- 岸田総理から総裁選の件、感謝を伝えてほしいとのことを述べられた。今後芳士戸理事長、上田理事と官邸にご挨拶へ行けるよう段取りをつけるつもりである。
- NHK 記者より最初の選挙の時 1 票差で勝った。その 1 票は診療放射線技師の力だとおっしゃってくれていた。岸田総理のご家族からも診療放射線技師のみなさまに感謝を伝えられた。皆さんと一緒に頑張ったことが伝わったと思う。
- 10 月 14 日解散、10 月 26 日公示、11 月 7 日投開票予定。
→ 理事会後 10 月 19 日公示、31 日投開票に変更
- 自民党員の件、前回同様継続していただきたい。3,000 人を目標にしたい。
- 第 49 回衆議院議員総選挙自民党候補者に対し、診療放射線技師を多くの議員に知ってもらいたいため、診療放射線技師連盟から推薦状を出す提案をさせてほしい。推薦状は小選挙区の候補議員にお渡ししたい。各支部の支部長あるいは連盟の方に推薦状を持って伺ってもらいたい。対象の候補議員に関してはリストアップする。時間がなく 10 月 20 日まで、遅くとも 25 日までにはお願いしたい。
- 根本匠元厚生労働大臣が福島県郡山で 100 名程度集めて講演したいという話が来ている。各メーカー、日本診療放射線技師会、日本診療放射線技師連盟、着物協会の方でも協力をしたい。
- 陳情書署名に関して感謝述べられた。

- 岸田ノートのように畦元ノートというのを作りたい。診療放射線技師の皆さんの意見を集めたいと思う。患者さんのため、診療放射線技師の皆さんのために頑張りたい。一つ一つ実現していきたい。
- 今回の選挙には手ごたえを感じている。今後ともよろしく願いたい。

5) 診療放射線技師会報告（上田理事）

- 診療放射線技師の仕事全般的なことを岸田総裁へ紹介させてもらった。畦元先生の方に岸田総裁、報道陣から質問があったということで理解が深まったと思う。
- 環境省の事業にはすでに協力している。経産省の事業については篠原大会長のご厚意でJCRT 東京ビックサイトにブースを出すなどしている。

6) 広島県連報告（中上副理事長）

- 岸田総裁が診療放射線技師の声を聴く会において“日本診療放射線技師会”という名前が各地域のニュースで出たということで非常に良いアピールになったと思う。ただ、現在の再生回数が3,700ほどなので10,000再生回数を目指しさらにアピールしていきたい。
- 総裁選の公示後、電話による岸田先生への投票を呼び掛けた。当選後たくさんのお祝いの連絡を頂いた。少しずつ政治と診療放射線技師とが結び付いてきたと思う。
- 9月25日広島県技師会マネジメントセミナーが開催された。そこで政治と連盟の話をさせていただき反響をいただいた。
広島県の支部長、技師会長が協力的であり広島県の技師には政治の大切さが伝わってきているのではないか。
- 9月29日総裁選開票日、開票の手伝いをさせてもらった。
- 同日、全国の診療放射線技師を対象とした“ふらっとセミナー”において政治と診療放射線技師の話をさせてもらった。500名以上の視聴があり終わってからも応援メッセージなど反響をいただいた。知っていただくと政治に興味も持っていただけるということで、連盟としていかに発信するかが重要であると思う。

2. 審議事項

1) 2021衆議院総選挙について

芳士戸理事長：

- 10月後半に向けて皆さんにやっていただかなければいけないことがある。公示の時には比例順位が決まっている。そのため公示1週間前までには色々な先生に挨拶し畦元先生のバックには診療放射線技師が大勢いるということを周知する活動をしななければいけない。役員の方が変わったので周知活動がさらに必要である。
比例の順位を決める先生方をリストアップし、推薦状を直にその地元の人に持って行

っていただきたい。

―臨床検査技師と診療放射線技師を混同していた議員の方が多かったが、最近はしっかり診療放射線技師と認識していただけている。これはすごく大きな進歩で畦元先生のお力が大きいのではないかと思っている。私たちもますますバックアップしなければいけない。

20日までに畦元先生からいくつか指示があると思うが、協力体制について審議をお願いしたい。

―審議事項1について承認された。

白木副理事長：20日までに各支部長にお願いすることは木暮理事から詳細が届く。

芳士戸理事長：選挙が技師会学術大会の前なので選挙対策は来週早々始めていきたい。

木暮理事：党員継続の件、党員会費のお知らせいつ頃届くか、振り込み後一報でもよいか。

畦元参与：振り込み後一報でもよいが、月曜日か火曜日にはお知らせを郵送することになっている。

木暮理事：HPに入金についてのお知らせを強調したい。

上田理事：陳情書について知らなかった方が結構いたようだ。連盟支部長が誰か不明な県がある。可能であれば連盟HPに支部長名が掲載できないか。

木暮理事：HPに掲載可能だが、メールが届かない、連絡つかない人がある。連絡つかない人たちに連絡可能か。

上田理事：HP掲載にあたり各支部長に掲載可能かの許可を得る必要がある。

木暮理事：理事会後、全支部長に一斉メールし、確認をとり、承認を得る。連絡が取れない、決まっていない場合は技師会の各地区の会長に人選していただき進めていきたいと思う。

白木副理事長：岸田先生への総裁選推薦状で連盟支部長の名前修正の件について芳士戸理事長より報告をお願いしたい。

芳士戸理事長：推薦状の名前訂正について岩手、福島支部長に対しお詫びしたい。推薦状は新しいものに差し替えた。連盟ニュースにも訂正とお詫びを載せる予定である。

3. その他

―白木副理事長：

第37回日本診療放射線技師会学術大会において連盟ブース設け、畦元先生の自民党員募集をする予定である。また開会式には畦元先生にご出席頂く、可能であれば岸田総裁から祝電やビデオメッセージを頂きたいと思っている。学術大会でも連盟の方が

ら畦元先生を応援していきたいと思っている。

－芳士戸理事長：

畦元先生秘書の若林さんにお願ひし、岸田総理への祝花を技師会と連盟の連名でお贈りする。

4. 理事会総括（丹羽副理事長）

丹羽副理事長から2021年度第3回理事会の総括を述べられた。

以上